第２７回会津バスケットボールフェスティバル
【 新型コロナウイルス感染症に対応した大会ガイドライン　改訂版 】

会津バスケットボール協会

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者である我々はもちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

＊基本方針　福島県および（公財)日本バスケットボール協会（JBA)・(一社)福島県バスケットボール協会（FBA）　のガイドラインに沿って実施する。

1　大会前の対応

（１）今大会は、あいづ総合体育館会場でもあり、有観客での開催とする。会場に入場できる者は、チーム関係者、大会役員、審判員、補助員、報道関係者、チーム関係応援者とする。チーム関係応援者の人数制限はせず、チェックシートの提出も不要とするが、各自感染症予防対策を十分にして入場・観戦すること。

　チーム関係者は引率責任者、コーチ、Ａコーチ、マネージャー、選手（含エントリー外の選手)、帯同トレーナー、参加高校管理職とする。

（２）チーム責任者は上記（１）を関係者に周知する。

（３）大会参加者の健康状態等を把握するため、参加チームは所定の健康チェックシート（１チーム１日につき１枚、引率責任者・コーチ・マネージャー・選手全員分を記入：以下「健康 CS」）の提出を求める。必要事項を記入し、大会当日、忘れず持参し大会本部に提出すること。

（４）大会前２週間以内に発熱(37.5℃以上)があった場合の対応について

① 日常的に発熱(37.5℃以上)がある場合、「通院する」ように促す。

② 大会当日発熱(37.5℃以上)、または体調がすぐれない場合は大会参加を見合わせる。

③ ２週間の期間中に発熱(37.5℃以上)があり医療機関を受診し、医師からの指示があった場合には健康 CS にその内容を記入する。

　例１：○月○日通院「自宅療養をして１～２日で熱が下がれば問題なし」と言われた。

　例２：○月○日通院「胃腸炎による発熱」　など

④ ２週間の期間中に発熱(37.5℃以上)があったが医療機関を受診していない場合で、大会当日発熱が無い者は受付にて確認する。

⑤ ワクチン接種による発熱の場合は、健康 CS の日にちに「ワクチン」と明記する。

2　大会中の対応

（１）　健康 CS の取り扱いについて

１）チーム関係者【チーム責任者（感染対策責任者)】

① 試合初日の集合時、会場の外でチーム全員の体温を健康 CS に記録し、体調観察をする。

② 当日、発熱(37.5℃以上)、または体調がすぐれない者は、大会参加を見合わせる。

③ 健康 CS の起床時体温の発熱(37.5℃以上)に赤丸をつける。

④ チームの健康 CS に必要事項を記入のうえ、大会本部に提出する。

2）チーム関係応援者【チーム関係応援者代表者】

① 当日、発熱(37.5℃以上)、または体調がすぐれない場合、入館、観戦を見合わせる。

② 応援で声を出す際は必ずマスクをすること。また、使用した座席は消毒すること。

3）大会役員、審判員

大会役員及び審判員は、所定の健康 CS を本部室に提出する。

4）主催者

① 受付担当者は、あいづ総合体育館 2 階本部室で、チーム責任者から提出された健康 CS を確認し確認印またはサインをする。

② 受付担当者は確認後にチェック項目がない者に参加可能の指示をする。

③ チーム責任者とチェック項目がある者を呼び、問題がなければ参加可能を指示し、問題がある場合は帰宅を促す。

④ 提出された健康 CS は主催者が保管（3 か月）するので返却しない。

（2） 受付、入場について

① 各チームの選手は割り当てられた場所（座席）で待機する。

② フロア（ベンチ）への入場時刻は第 1 試合が試合開始 60 分前、第 2 試合以降は試合開始 20 分前とする。前試合が遅延した場合は、消毒作業終了後、入場とし 20 分後に試合を開始する。（複数コートの場合は遅延したコートに合わせる）

③ 受付を済ませたチーム関係応援者は、あいづ総合体育館観客席にのみ入場できる。エントリーされたチーム関係者以外の応援者は体育館フロアには入場しないこと。

④ チーム関係応援者は、できるだけ間隔を空けて観客席に配置すること。

⑤ 試合・応援が終了して観客席を離れる際には、使用した椅子・手すり等を必ず消毒し、ゴミは持ち帰ること。

（3）会場内

① コート上を除いては、マスク着用（不織布マスクを推奨）とするが、屋内外で 2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。

② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

③ 様々な場面において、他の参加者等との距離を十分確保すること。

④ 昼食をとる場合は、距離を十分とって対面を避けて食事すること。

⑤ チーム関係応援者のフロアへの立ち入りは禁止する。

⑥ 更衣室の使用については主催者の指示に従い、密にならないようにすること。

⑦ 前試合のハーフタイムの試合コートでのW-up は行ってよいことにする。それ以外の時間については、あいづ総合体育館の利用規定に従い、ボールを使用せずにW-up をすること。

（4）試合

① 指導者・スタッフ・ベンチに座る選手は、マスク着用（不織布マスク推奨）とする。マスクの管理は各自が責任を持つこと。（保管用のビニールを準備する、番号・氏名の記入等）

② プレー以外の円陣、握手、ハイタッチ、抱擁等の不要な接触を避けること。

③ タオル、ボトル等、すべてのものを共用しないこと。

④ ベンチでは可能な限り間隔をとって着席する。

⑤ コート上でのチームメイト、審判員との会話の際の距離についても留意する。

⑥ 試合前、試合後の審判、相手ベンチへの挨拶はキャプテンのみとし、握手は行わない。
⑦ W-up 時や試合中にチームで統一されたかけ声や応援は禁止する。
⑧ 試合が終了し選手退場後に、引率責任者が責任をもってチームベンチエリア内の消毒を行う。各チームは消毒に必要な物品（アルコール消毒液、ペーパータオル、使い捨て手袋、ゴミ袋）を準備する。消毒作業で出たごみは各チームで持ち帰る。
観客席のチーム関係応援者が観戦で使用した場所は、チーム関係応援者の責任で消毒作業を行う。消毒に必要な物品も各自で準備、持ち帰ることとする。

（5）TO、CK について
① TO 席は長机２つを配置し、TO４名が可能な限り距離をとって着席する。
② TO、TO 主任、CK はマスク（不織布マスクを推奨）を着用する。
③ 試合終了後、ＴＯ主任・審判は協力し TO 席、TO 操作盤、筆記用具、CK 席、モップの消毒を行う。この消毒作業に必要な物品は大会主催者が用意する。

（6）その他
① ごみは、各自責任をもって持ち帰ること。
② 手洗い、手指消毒等の注意喚起掲示をする。総務が準備し、会場校が掲示する。
③ 手指消毒液、ペーパータオル等の設置をする。大会主催者が準備し、会場責任者が設置する。
④ 会場備品、ドアノブ、トイレ等の消毒を大会役員が適宜行う。
⑤ 窓・ドアの開放や大型扇風機、サーキュレーター等の利用で可能な限り換気を促す。
⑥ 試合、TO、役員業務が終了した参加者は速やかに帰宅する。
⑦ 役員、審判員の飲料等は各自準備する。
⑧ 審判は原則１日１試合とするが、２試合の割当てとなる場合もある。
⑨ 県協会ではＳＮＳへの静止画・動画のアップロードを禁止している。試合のライブ配信についても禁止とする。
⑩ 主催者側でも常設するが、除菌シートやアルコールスプレー等の持参の協力を依頼する。

3　不測の事態の対応

（1）　棄権チームについて…体調不良者が原因で人員不足となり出場不可となったチームは「棄権」となるが、処分の対象とはしない。

（2）休校等の出場について
① 休校中の学校のチームは、出場不可となる。
② 学級閉鎖の場合は、その学級に在籍する生徒は出場不可となる。
③ 学年閉鎖の場合は、その学年に在籍する生徒は出場不可となる。

（3）大会期間中に参加者に感染者が出た場合
感染者発覚の時点で、速やかに会津バスケットボール協会会長に連絡し、その後の大会運営について協議する。

（4）大会後２週間以内に参加者に感染者が出た場合は、速やかに会津バスケットボール協会理事長または総務委員長に連絡する。

ガイドラインに関する問合せ先

会津バスケットボール協会	理事長	折笠弘一（会津学鳳高校 090-1063-8616）
会津バスケットボール協会	総務委員長	黒川　朗（　葵高校　　0242-27-5461）